

使用済み活性炭 飼料で特許



酒造りに使った後の活性炭。酒のほのかな香りがし、牛は好んで食べる
＝神戸市中央区港島中町6

3年前商品化「取り組み 全国に広げたい」

活性炭は、酒造りに使った活性炭が有用なえきになるとして特許庁に申請。既にある物の知られざる性質を見つけ、新たな使い道を示す「用途発明」と認められ、

活性炭：石炭や木材、ヤシ殻などの原料を高温で加熱処理して作られる、微細な孔を持つ炭素質物質。優れた吸着能力を持ち、脱色、脱臭、浄水、空気清浄などに利用される。

酒造りでは、もろみを搾った酒に粉末状の活性炭を加え、1日～1週間後にろ過する工程がある。物質を吸収する特徴を生かし、酒が黄色くなるのを防いだり、味や香りを整えたりする。全国の酒造会社での使用量は年間千トンを超えるが、大半は産業廃棄物として提供してきた。ただ、水分

農食
アグリライフ

白鶴酒造

廃棄物削減と畜産の課題解決

日本酒大手の白鶴酒造（神戸市東灘区）は、酒造りに使った活性炭の飼料としての有用性を明らかにし、特許を取得した。牛の健康維持やふんの臭いを抑える効果があるとして3年前に商品化。研究では牛が好んで食べることも確かめた。活性炭は各地の酒蔵で使われるが、再利用の難しさから多くが捨てられているといい、新たな用途の普及を目指す。

（長尾亮太）



酒造りに使った活性炭が入った飼料を食べる牛（白鶴酒造提供）

が多く、発酵に時間がかかる弱点があり、別の活用方法を模索していた。

今年7月に特許を取得した。開発を担当した同社研究室の矢倉電樹主任は「酒造業界から出る産業廃棄物を減らし、畜産業界の課題解決にもつなげられる。取り組みを灘五郷から全国に広げたい」と話した。

白鶴は、普及に向け、他の酒造会社から飼料メーカーへの使用済み活性炭の販売を仲介する。白鶴酒造お客様相談室 ☎ 078・856・7190

左の記事を読んで、下の問いに答えましょう。

1 酒造りで、活性炭はどんな目的で使われますか。本文中から25字で抜き出し、最初と最後の3文字を書きましょう。

			～			
--	--	--	---	--	--	--

2 酒造りに使われる活性炭は使用后、何になっていましたか。5文字と2文字の漢字で書きましょう。

--	--	--	--	--	--	--

3 活性炭を牛に食べさせると、牛にどんな効果がありますか。リード文から20字以内で抜き出し、最初と最後の3文字を書きましょう。

			～			
--	--	--	---	--	--	--

4 白鶴酒造が認められた特許は、なんというものですか。漢字4文字で本文中から抜き出しましょう。

--	--	--	--

NIEワークシートのこたえ（2025年11月25日公開）

◆ワークシート「活性炭を牛の飼料に(理科)」

2025.11.20付 朝刊 6面 解答

- 1 酒が黄 ～ りする
- 2 産業廃棄物 堆肥
- 3 牛の健 ～ る効果 (健康維～がある) (健康維～る効果)
- 4 用途発明